

ケント・カルダー SAIS副学長兼ライシャワー東アジア研究センター長 との懇談会を開催

開催日： 2020年2月18日(火)
場 所： 経団連会館
講 師： ケント・カルダー ジョーンズ・ホプキンス大学高等国際問題研究大学院(SAIS) 副学長
兼ライシャワー東アジア研究センター長

経済広報センターは2月18日、ジョーンズ・ホプキンス大学高等国際問題研究大学院(SAIS)副学長兼ライシャワー東アジア研究センター長のケント・カルダー教授を招き、「アメリカ大統領選：3つのバトルフィールド」と題した懇談会を開催した。会員企業・団体から約40名が出席した。

カルダー氏は、ハーバード大学日米関係プログラム初代事務局長や駐日米国大使館特別補佐官などを歴任した、米国政治や米日関係の専門家。近年の米国大統領選挙は、共和党・民主党間の得票差が縮小しており、中西部イリノイ州やミシガン州などにわたる「ラストベルト」、東部ペンシルベニア州からテネシー州辺りにかけての「アパラチア」、そして南部「ヒスパニック・アメリカ」の各地域の動向が結果を大きく左右すると指摘。さらに、今後は3地域のなかでも特に「ヒスパニック・アメリカ」が重要になると述べ、共和・民主両党にとって、この地域の票を取り込む候補者をいかに擁立するかがカギとなると説明した。



後半の質疑応答では、民主党の有力候補とされるサンダース氏やブルームバーグ氏の動向などについて活発な意見交換がなされた。

以 上